



今日、私は20歳にして晴
れて通信制高校を卒業し
た。中学校を卒業した後、
全日制課程の高校に入学す
るも過去のい
じめ被害のフ
ラッシュバツ
クから教室に
行けなくなっ
た私は、1年
間通信制課程
への転学を考
えながら早退
を繰り返していた。思えば
この時期が一番苦しかった
ように思う。

学校では先生方の計らい
で別室で過ごしていたがバ
ニックを起して早退する
こともしばしばあった。そ
の度に仕事を抜けて迎えに
来てくれた母親の表情を思
い出すと今も胸が痛む。ど
うして教室に行けないの
ろ、別室での様子を常に見
ることができる。そうして組んだ
時間割に沿って、規定され
た回数授業に出席すること
になっている。そして自宅
ではリポートを作成し、期
限までに提出する。そうし
ても、両親は共に全日制
高校の出身のため、通信制
の単位修得についてや
高校のことをよく知らなか
った。それ故に通信制高校
というシステムそのものに
偏見を抱いていた。

今、母親に尋ねてみると、
「通信制高校は人生をドロ
ップアウトした人が通う
場所だと心のどこかで思い
込んでいた」と母は振り返
る。そして、「通信制高校
について無知だった。無知
は罪だと思った」と付け加
えた。

事実、通信制高校への進
学希望が近年増加する一方
で、私は偏見もまた根強く
残っていると感じる。とあ
る検査エンジンで通信制に
ついて検索しようとする
と、候補の中に「通信制
人生終わり」と表示される
ことが時折ある。しかし私
に言わせればそうではな
い。人と道が違っても人生
が終わるなんてことは決し
てない。それは年齢も背景
もそれぞれ全く違う人々と
学べた通信制が教えてくれ
た。通信制という選択肢へ
の偏見がなくなることを切
に願う。

通信制高への偏見なくして

赤岩 通

か」と問われても、私自身
も分からなかった。教室に
足を踏み入れた途端、寛
後に私が卒業することにな
る学校である。

そこでは基本、週に1回
学校に登校する。受講する
科目も、必修科目を除いて
はほとんど自由に選ぶこと
ができる。そうして組んだ
時間割に沿って、規定され
た回数授業に出席すること
になっている。そして自宅
ではリポートを作成し、期
限までに提出する。そうし
ても、両親は共に全日制
高校の出身のため、通信制
の単位修得についてや
高校のことをよく知らなか
った。それ故に通信制高校
というシステムそのものに
偏見を抱いていた。

今、母親に尋ねてみると、
「通信制高校は人生をドロ
ップアウトした人が通う
場所だと心のどこかで思い
込んでいた」と母は振り返
る。そして、「通信制高校
について無知だった。無知
は罪だと思った」と付け加
えた。

事実、通信制高校への進
学希望が近年増加する一方
で、私は偏見もまた根強く
残っていると感じる。とあ
る検査エンジンで通信制に
ついて検索しようとする
と、候補の中に「通信制
人生終わり」と表示される
ことが時折ある。しかし私
に言わせればそうではな
い。人と道が違っても人生
が終わるなんてことは決し
てない。それは年齢も背景
もそれぞれ全く違う人々と
学べた通信制が教えてくれ
た。通信制という選択肢へ
の偏見がなくなることを切
に願う。

(宮古市 学生 20歳)